

2-2-15 第 15 分科会 「小学校外国語活動教材開発」

担当者 若有保彦 受講学生 13 名

活動概要：本グループでは小学校外国語活動で使用する教材の開発に役立つ情報を収集し、分析、考察を行った。具体的には、

- (1)日本と諸外国の教育制度の比較
- (2)日本と諸外国の教材の比較
- (3)小学校外国語活動の実際

の3つのテーマについて、小グループに分かれて研究を進めてきた。

活動風景





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 小学校外国語活動の中で、小学校（日本）の活動について調べるようになった。実際に小学校に見学に行ったりもするので、質問項目などを早めに決めたいと思います。（11月4日の感想より）
- 今日は小学校に電話をかけていき、見学をしていいかアポを取った。まだ実際の活動にうつるのは難しそうだが、インタビュー内容も決められたのでよかったと思う。（11月11日の感想より）
- 日本の外国語活動の教科書の総単語数を数えた。短縮形をどうするのか、**shopping**、**shop** をどのようにカウントするのか、よく考えなければ分からないものがあり、かなり苦戦を強いられた。（11月18日の感想より）
- 小学校で行うアンケートの内容についてグループのメンバーとつめていきました。一言でアンケートと言っても、項目をどうするのか、質問はこれでいいのかなど、難しいところがたくさんあることを学びました。（12月2日の感想より）
- 今日は9:30～旭川小学校の授業見学をしてきました。そのお礼のお手紙の作成と、東小学校へのアンケート依頼の文書作成をしました。（12月9日の感想より）
- 日本の英語教育は、他の国より劣っているということが分かった。これからどのような対策をすればこれらを改善できるかを考えたい。（12月16日の感想より）